町田 市議会だより

開かれた議会で いいこと ふくらむ まちだ

臨時号　令和６年３月19日発行

編　集：議会運営委員会　発　行：町田市議会　〒194－8520　町田市森野２－２－22

市議会ホームページもご覧ください。
https://www.gikai-machida.jp/

町田市議会へのご意見をお寄せください。
電話 042-724-4049　FAX 050-3161-7663
eメール gikai@city.machida.tokyo.jp

・お寄せいただいたご意見の要旨が広報紙等で紹介される場合がございます。ご了解の上、送信ください。
・誹謗中傷、個人情報などは送信しないでください。
・原則として個別の回答は行いません。

町田市議会スマートフォンサイト

木目田英男 議長　山下てつや 副議長を選出

3月定例会では、2月22日に正・副議長の選挙、3月11日に常任委員会などの議会人事の改選等が行われました。

木目田英男議長（選ばれる町田をつくる会）、山下てつや副議長（公明党）を選出しました。

山下てつや 副議長

木目田英男 議長

就任のあいさつ

私たちは、議員各位のご推挙により議長並びに副議長の要職に就任いたしました。

責務の重大さを自覚し、市民の負託に応えるため、市民本位の議会運営に誠心誠意努めてまいります。

市議会の機能の中には行政のチェックや政策立案などがございますが、いずれも市民の皆さまからのニーズの把握や深い検討が欠かせません。

町田市は市制施行から66年となり、これまで一貫して人口が増加し、発展を続けてまいりましたが、今後は人口減少が見込まれております。全国的にも人口減少、少子高齢化や物価高騰など様々な課題がある状況であり、町田市における課題も同じであると認識しております。

こうした中、住民福祉の増進つまり市民の皆さまの幸せのために、町田市議会ではこれまで以上に学びと議論を深め、強くしなやかな議会を目指してまいります。

今後とも市民の皆さまのより一層のご指導、ご鞭撻を賜りますよう心からお願い申し上げ、就任の挨拶といたします。

会派構成

（令和６年３月11日現在）
○は会派代表者

まちだ市民クラブ
○戸塚　正人　渡辺さとし
小野りゅうじ　笹倉みどり
佐藤　和彦　森本せいや
東　友美　今村　るか

公明党
○おんじょう由久　小野寺まなぶ
村まつ俊孝　松葉ひろみ
山下てつや　おく　栄一

自由民主党
○石川　好忠　加藤　真彦
三遊亭らん丈　藤田　学
佐藤　伸一郎

選ばれる町田をつくる会
○渡辺厳太郎　木目田英男
白川　哲也　いわせ和子
若林　章喜

日本共産党
○細野　龍子　田中　美穂
佐々木智子　殿村　健一

無所属
○松岡みゆき　新井よしなお
吉田つとむ

諸派
熊沢あやり

諸派
中川幸太郎

諸派
秋田しづか

諸派
おぜき重太郎　矢口　まゆ

会派名	人数
まちだ市民クラブ	8
公明党	6
自由民主党	5
選ばれる町田をつくる会	5
日本共産党	4
無所属	3
諸派	2
諸派	1
諸派	1
諸派	1
計	36

会派の抱負

（3名以上で構成される会派について抱負を掲載しています。）

会派とは、市民の生活に密着した様々な施策を市政に反映させるため、同じような考え方や意見を持つ議員同士のグループのことをいいます。

まちだ市民クラブ

「まちだ市民クラブ」は市政に対し「市民の生活目線」を第一に行動します。

①「チルドレンファースト」、子育てしやすい街にします。
②「学校再編」はスクールバス導入や防災機能の確保等、子ども・保護者・地域目線の計画とします。
③「障がい児・者」が地域で安心して暮らし続けられる街づくりを進めます。
④全世代が「スポーツできる環境整備」を進めます。
⑤「交通不便地域」の解消に取り組みます。
⑥「認知症当事者と家族介護者」が安心して暮らせる街をつくります。
⑦「ＬＧＢＴＱ等」多様性を尊重する社会をつくります。

ご意見ご要望をお寄せ下さい。

公明党

公明党は、立党精神「大衆とともに」を原点に、小さな声を大切に、子育て支援や福祉の充実、安全・安心なまちづくりに取り組んでいます。

現在の物価高騰や働き手不足といった環境を踏まえ、市民生活を支える様々な政策を着実に推進してまいります。

そして、安心してお子様を産み育てられるよう、妊娠・出産・子育てのトータルケアの充実をはかり、小中学校給食費の無償化、いじめや虐待の根絶等、多くの政策を推進します。更に、誰もが安心して暮らせるよう、ユニバーサルデザインによるまちづくり、公共交通の充実、行政サービスＤＸ化の推進、防災や医療体制の拡充等、どこまでも市民目線で推進してまいります。

自由民主党

自由民主党会派は、地域の伝統と文化を尊び、地域の声を聞き、行政に対して積極的に政策を提言する穏健な保守の会派です。

具体的には、次に掲げる施策です。①町田駅周辺市街地再開発②子育てしやすい街づくり③すべての世代が住みやすい町田④スポーツによる地域経済の活性化⑤魅力ある公園の環境整備（野津田公園・忠生スポーツ公園等）⑥多摩都市モノレール町田方面と小田急多摩線延伸の早期実現⑦鶴川駅周辺まちづくり⑧都市農業の振興⑨防災・減災対策⑩学校給食費の無償化⑪町田・安心して暮らせるまちづくりプロジェクト⑫交通渋滞の解消等を、推進してまいります。

選ばれる町田をつくる会

我々は皆様に「選ばれる町田、選ばれ続ける町田」を創ることが使命と考えます。

近年、私たちを取り巻く社会は、経済の停滞、少子高齢化に加え、感染症の流行や戦争、地震災害、物価高騰など、新たな課題が山積しています。

市民の皆様が生活の質の向上を実感でき、昨日より今日、今日より明日と、希望が持てる地域社会を実現し、これまで社会を牽引してきた世代や、これから将来を担っていく若い世代に「選ばれる町田」を実現していくことが肝要であると認識しています。

政治的パフォーマンスに終始することなく、市政の根幹である財政、まちづくり、経済、防災、子育て等、提言を行い、実現していきます。

日本共産党

私たちは市民に寄り添い、問題を解決するために取り組んでいます。そして、様々な声を市政に届け、実現するため皆さんと力を合わせてきました。議会への多くの請願も重要な声です。小中学校の三分の一を減らす学校統廃合計画の見直しを求める請願をはじめ、（仮称）国際工芸美術館の計画見直し、市立図書館の存続、補聴器購入補助制度の実施、国民健康保険税値上げ中止、給食費の無償化、中学校の全員給食等、請願が採択され、要望が実現するよう奮闘してきました。市民サービスを削減し、公共料金を引き上げながら進める、不要不急の大型開発優先の市政から、市民本位の市政に転換するため、全力でがんばります。

無所属

無所属議員3名で構成し、政党の影響を受けることなく、しがらみのない立場で行動している会派です。

この2年間の活動は「住みよい町田」を創るため市民の声を届けてきました。芹ケ谷公園パークミュージアム計画関係の請願署名議員や、計画予算を削る予算の修正案を会派として提案。また、学校統廃合の問題についても、市民の皆様からの請願の筆頭署名議員や本会議・委員会で問題点を取り上げてきました。

いずれの計画も市が計画を示した後に市民から異論が噴出している施策です。

私たちの会派は市民の立場にたち活動をしてまいりますので、引き続き皆様の声をお聞かせください。